ミニ講演とディープな今高野山めぐり

備後大田庄・今高野山を歩く



-紀州・高野山と備後世羅・今高野山のつながり-

いまから840年前、時の最高権力者である後白河法皇は、源平の戦いで敗れた平氏を弔うためとして、所領であった備後大田庄を紀州高野山の中心である根本大塔に寄進しました。この度は、中世の高野山と今高野山、そして両者をつなぐ港町としての尾道についてお話します。

令和８年 12 月 5 日【土】

散　策　10：00～12：00　（30分前受付開始）

ミニ講演　13：00～14：30

参加費　500円（歴史館入館料210円を含む）

定　員　先着30名（要事前申し込み）

会　場　世羅町大田庄歴史館　〒722-1123 世羅町甲山159 (FAX 0847-22-4647)

申　込　申込用紙に住所・氏名をご記入の上、FAX又は郵送にてお申し込みください。
（連絡先 090-9069-7099 岡本）

講師

Oku Tadanao
奥 忠直 氏

尾道商會　代表

尾道市生まれ。広島大学大学院教育学研究科博士課程前期修了。教育学修士。日本古代・中世の土地制度史を研究。
就職後、まちあるき団体「尾道商會」を結成し、市民や観光客に尾道の歴史や文化を紹介している。

主催：備後世羅・大田庄と高野山840年記念実行委員会
共催：甲山・新山自治会教育文化部、尾道商會、世羅郡文化財協会
後援：世羅町教育委員会